

## 平成31年度(令和元年度)事業報告

2020.6.2

### 【主旨】

年度前半の大阪では、引続きインバウンド観光が定着し、G20 サミットは大阪南港で開催された。2025年の万国博覧会に向けて順調であったといえる。

世界情勢も、中東や北朝鮮、イギリスなどの地域問題が小康状態であったが、年明け以降、劇的に変化した。

今年1月から顕在化した、中国武漢が最初の大規模発症であった「新型コロナウイルスによる感染症」が世界的に蔓延（パンデミック）し、4月にピークを迎えて現在も衰えていない。

外見が元気な人からも感染する病気は、人と人との接触の形を大きく制限して、交通・移動、集会、対面などにおける3密（密閉、密集、密接）を避けるように活動自粛が求められており、海外では都市封鎖も実施された。

世界中の人間活動、社会活動がストップし、歴史的な経済不況が危惧されている。今夏予定されていた東京オリンピックは1年延期されたが、感染症の収束の時期はまだ予測されていない。

このような社会経済活動の減退はデザインにも大きな影響を与えており、直接的には、デザイン仕事の受注減、将来的にはデザインの果たす役割の変化に対応していかなければならない。

年度当初には当財団の戦略として、「事業構想デザイン研究所」の設置、「大阪デザインカンファレンス」の開催に、人材育成ジャンルとして「ビジネスデザイン・コーディネーター資格認定制度」の創設を加えて、3つの主要戦略とした。

2020年に「インバウンド観光」に関する「大阪デザインカンファレンス」の開催を目指して検討中であったが、社会状況の変化にかんがみ検討を休止している。

又、従来の人材育成講座を整理・発展させて、ビジネスデザインをコーディネートできる人材をODCが認定する仕組み設計と養成事業を31年度に実施する予定であったところ、経済産業省の補助要件と合致したので、「経営デザイン・プロデューサー育成講座」として再編し、従来の人材育成講座を5つの個別講座に整理・発展させた。

具体的事業としては、デザインシンキング、先端技術、美的感性、知財活用力、プロジェクト構想力の個別講座として実施したが、デザインシンキングの未来思考ワークショップは定員不足で中止した。その他の講座は盛況であった。この過程で、トータルな能力取得を呼び掛けたが殆んど反応が無く、「ビジネスデザイン・コーディネーター資格認定制度」創設については厳しい状況である。

デザインシンキングの取組の中で、参加企業の自社事業に還元できる商品コンセプトづくりの視点からの未来思考ワークショップを目指したが、抽象的テーマでは参加者が少なく、価値づくりの戦略が中々前進していない。

具体的な新素材を提示して企業に価値づくりを提起するために、CNFセルロースナノファイバー勉強会を企画したが、コロナ感染症のために延期している。

最終目標としての「事業構想デザイン研究所」は、ODC自身が、シンクタンク機能、人材育成機能、企業価値づくり・社会価値づくりへのデザイン参画、実現化支援を行うことを構想しているが、当面は、SDGs、コロナ等の社会課題への対応、ODCの賛助会員・連携メンバーの紹介・PR活動、プロジェクト受託勧誘が主となる。

この他、小学生の図画工作の指導法にデザイン手法を導入するワークショップや、商品パッケージ企画実習講座を実施して、大変好評であった。

一方、年度後半には、感染症の拡大防止のために、SEMBAサロン、新年度のパッケージ講座などを中止した。

財政面では、いまだ、安定的な経営の道筋は見えていない。

直接事業経費支出額は当初17,358千円を予定していたが、各種事業の延期、中止により8,114千円となった。事業活動収入では、事業収入減により、421千円減少した。

実施事業会計の収支差額は、34,433千円の赤字であったが、これを公益目的財産の取り崩しによって賄った。その他会計・法人会計も含めた年間の総収支差額は、34,043千円の赤字となった。

財団全体の純資産額は前年度末931,380千円に対して、876,470千円と54,910千円の減少となった。

公益目的支出計画の実施状況については、今年度は55,103千円の支出となり、当初計画の68,000千円よりも少ないが、着実に実施している。

当財団のようにソフト事業を行う場合にはベースの人件費割合がかさみ、事務室賃料等を含めた団体運営経費を公益目的支出計画財源に頼るという構図となっている。

これまでは、保有する日本国債の時価が高騰したので、その売却益によって資産総額の減少が薄められてきたが、今後は、資産評価額の経年自然減少と資産売却時の名目上の売却差損の計上によって保有資産額減少が顕在化するので、早急に収益の道を確保する必要がある。

## 【事業計画】

### 事業費総額 支出 12,655 千円、 収入 17,214 千円

事業に直接必要な物件費Ⅰ～Ⅳを記載しており、間接経費、資産収入等は除いている。

#### Ⅰ (価値)開発軸 (事業費 5,642 千円、 収入 7,336 千円 )

##### 1. 事業構想デザイン ( 0 千円、収入 0 千円 )

戦略	目的	第1フェーズ H30	第2フェーズ R1実績	ゴール
	人材育成部門	「未来思考事業創生プロジェクト」(デザインシンキングのワークショップ)を実施した。	「経営デザインプロデューサー育成講座」を実施した。 資格認定制度の手ごたえは弱かった。	

事業構 想デザイン	研究構 想部門	「ODCオープンイ ノベーション研究機 構」は実施せず。	企業の価値づくりの視点 の「未来思考プロジェク ト」は実施出来ず、CN Fセルロースナノファイ バーの勉強会を計画し た。	『事業構 想デザイ ン研究所』
	実現化 部門	クラウドファンディ ングの有効性を確認 した。	連携先の拡大を図った。	

## 2 デザイン研究開発 ( 866 千円、収入 100 千円 )

### (1) デザインによる社会課題の解決

#### ① 大阪デザインカンファレンス ( 233 千円 )

デザインの切り口で新たなソリューションを生み出す仕組みを作るための共同作業の場、出会いの場として、「大阪デザイン・カンファレンス」の開催を検討し、初回は、「インバウンド観光」を統一テーマに設定しようとした。デザイン団体やデザイン教育者、有識者の協力を得て検討したが、成案がまとまらないうちにコロナ感染症が起これ、テーマの見直しをせまられ、検討を中断している。

#### ② デザインを活かしたこどもの創造性を育む教育プロジェクト

(633 千円、収入 100 千円)

ア) 事例発表会「デザイン×子ども×学校ーデザイン手法を活かした こどもの創造性を育むカリキュラムー」

時期 8月29日(木)13:30~17:00

場所 大阪市立中央図書館5階大会議室

参加者数 91名

参加料 無料

内容 1部は基調報告：大阪市立丸山小学校で実施した授業を振り返り  
校長 松下淳則氏、同校教員 東志文氏、子どものデザイン研究所  
(北中正紀氏、吉村幸子氏、宮本昌彦氏)

2部は特別講演&対談：事例を紹介した後、意見交換。

京都大学総合博物館准教授 塩瀬隆之氏、

同志社女子大学 現代子ども学科特任教授 上田信行氏

イ) 水彩画ワークショップ

時期 ①8月24日(土)14:00~16:50(50分×3コマ)

②2020年2月15日(土)9:00~15:00(50分×3コマ)

場所 大阪教育大付属天王寺小学校 図工室

参加者数 ①各回35名 ②各回35名

参加料 ①無料 ②は同校より実施料100,000円支払い

内容 同校主催の若手教員向けイベントにおいて、小学校教諭に対して水彩画の描き方をワークショップ形式で指導。

①若手育成研究会 ②令和元年度 研究発表会

### 3. 人材育成 (4,776千円、収入7,236千円)

#### (1) ビジネスデザインコーディネーター資格制度 (0千円)

平成31年度は、資格認定制度に向けた認定審査要件などの制度設計を行う予定であったが、反応、ニーズが小さく、中断している。

#### (2) 経営デザイン・プロデューサー育成講座

(3,712千円、収入98千円、補助金収入5,268千円 人件費込)

デザイナー、クリエイティブディレクター、プロデューサーの資質を兼ねた人材としての「経営デザイン・プロデューサー」を養成するための下記個別講座を実施し、出来るだけ一人の人が重複して受講するように呼び掛けた。

#### ア) デジタル技術とデザインーデジタル・トランスフォーメーションによる価値創造ー

IT、ロボットの最先端技術の状況を学ぶ講座。

時期 ① 9月6日(金) 13:00~16:00

② 9月25日(水) 14:00~17:00

場所 ① 奈良先端科学技術大学院大学

② 甲南大学 知能情報学部

参加者数 ①11名 ②10名

参加料 無料

内容 ①先端科学技術研究科 情報科学領域 教授 笠原正治氏。ブロックチェーン技術の解説および今後の可能性について講義。

②知能情報学部 知能情報学科教授 灘本 明代氏。AIを利用した漫才ロボットの開発について講義・デモンストレーション。

① ②ともキャンパスツアーあり。

#### イ) 未来思考事業創生プロジェクト実践編

「未来×デザイン」思考プロジェクト ー未来の社会・生活をデザインするー

事業構想デザインを担える人材の育成と、企業価値創造を目指した。

未来志向に必要なソーシャルデザインのセミナーと、発想法のワークショップを実施したが、新商品コンセプトづくり、価値づくりを目指す実践型のワークショップは、応募者が少なく中止した。本件のみ、補助対象外で、有料講座。

時期 ①11月8日(金) 14:00~17:00

②11月22日(金) 14:00~17:00

場所 大阪デザインセンター SEMBA 会議室

参加者数 ①11名 ②7名

参加料 各回5,000円(賛助会員4,000円)

内容 総合プロデューサーは、気づきデザインラボ代表の竹綱章浩氏。

① 京都工芸繊維大学特命教授 ジュリア・カゼム氏。インクルーシブデザインの第一人者である同氏が、「排除しないデザイン」によるソーシャルイノベーションについて講義。

- ② スリーエムジャパン勤務 ワークショップデザイナー 太田光洋氏。ポスト  
イット製品をフル活用し、課題解決のためのアイデア出しワークショップ

## ウ)美的感性と表現技法の修得 ―共感を育む 価値を高める―

美的クリエイティブをディレクションできる人材（クリエイティブディレクター）  
を養成する現場体験型のワークショップ。

時期 ①10月25日（金）14:00～17:00

②12月17日（火）15:00～17:00

③1月21日（火）14:00～19:00

④2月3日（月）15:00～17:00

場所 ①③大阪綿業会館、②ギャラリーファインアート、④小原流研修会館

参加者数 ①20名 ②16名 ③13名 ④13名

参加料 無料

内容 ①・③ 村田智明氏。同氏が考案した「感性ポテンシャル思考法」に基づき、  
感性価値、それを生かしたデザインについて学んだ（著作を無料配布）。2  
回目は、受講生が作成した事業プランシートの発表および講評。

①ファインアート株式会社 代表取締役 片野田旨侶氏、墨象家 荻野丹雪氏。  
片野田氏からは、大型施設や病院へのモダンアート導入について、萩野氏  
からは「響」など著名な書の誕生秘話やデザインとアートの違いなどにつ  
いて、ざっくばらんなトークを。

②一般財団法人小原流 常務理事・小原流研究院副院長 金森厚至氏。  
生け花の歴史とその背景にある文化史、小原流の特長などの講義の後、解  
説を交えながら3作品を制作。貴重な写真集等の資料閲覧もあり、生活文  
化であり現代芸術でもある生け花の世界に触れた。

## エ)知財実習セミナー

―攻めと守りのブランディング―知的財産権の違いを理解し味方につける―

特許権、意匠権、商標権、著作権などの知的財産権をどのように使い分けて権利保  
護をすればよいのか（知財ミックス）、事例に即してケースメソッドでのセミナーを実施した。

時期 ①12月13日（金）14:00～16:30、

②2020年1月13日（木）14:00～16:30

③1月29日（木）14:00～16:30

場所 ①京都経済センター ②③大阪産業創造館

参加者数 ①39名 ②61名 ③54名

参加料 無料

内容 ①講演：近畿経済産業局知的財産室 工業所有権活用専門官 田中康資氏、大  
阪工業大学大学院知的財産研究科 山田繁和氏、

事例発表：有限会社アイ・シー・アイデザイン研究所 飯田吉秋氏、グンゼ株  
式会社 北浦達朗氏。

知財活用の重要性と事例を専門家、企業戦略の観点から解説。

②講演：特許業務法人 藤本パートナーズ 弁理士 石井隆明氏、

事例発表：ロート製菓(株)知財アライアンス推進部技術 IP グループ 宮崎智子氏、タイガー魔法瓶(株) 知財・規格チーム 高田 宏氏。

意匠法改正のポイントについての講義の後、各社の意匠保護戦略を聞いた。

③講演：レクシア特許法律事務所 弁護士 / 弁理士 山田威一郎氏、独立行政法人工業所有権情報・研修館 統括知財戦略エキスパート 川島泰介氏。紛争事例から学ぶ権利行使の実務、海外ビジネスと知財について、経験豊富な専門家から学んだ。

### オ)プロジェクトの構想力「デザイン焚き火塾」 話せば、燃える。TAKIGI Talk Live

ー最旬クリエイターの発想に学ぶー

越田英喜塾頭の主宰サロンで、毎回ゲストとのトークによりプロジェクト・アイデアを燃え上がらせた。

時期 ①9月26日(木) 18:00~20:00(以下同) ②10月24日(木)、  
③11月28日(木)、④12月19日(木)

場所 堺筋の又一商店

参加者数 ①40名 ②31名 ③31名 ④26名

参加料 無料

内容 ホスト：有限会社フジワキデザイン 代表 藤脇慎吾氏、  
当財団理事長 越田英喜。

ゲスト：

①アシタノシカク株式会社 代表取締役 大垣ガク氏、

②株式会社闇 代表取締役 頓花聖太郎氏、

③株式会社電通関西支社 アートディレクター 中尾香那氏、

④建築家/神戸大学教授 遠藤秀平氏。

各氏の発想の源流とビジネス展開について聞き、未来のクリエイションを展望した。

### (3) 商品パッケージ企画実習講座 (1,064千円、収入1,870千円)

企業の商品企画・販売促進担当者を対象に、商品パッケージづくりに関する基礎知識から効果的に展開できる企画手法、デザインに取り組む留意点などをグループワークショップも交え、体感的に修得していただいた。

ア) 2019年前期(第5回目)

時期 2019年4月17日(水)~6月5日(水) 16:00~19:00 全7回

場所 大阪デザインセンター「SEMBA」会議室

参加者数 16名

参加料 60,000円(税込) 当センター賛助会員 50,000円(税込)

内容

《4.17(水)》パッケージデザイン概論&プロセス

ワークショップ：パッケージを生み出すというコト

講師：(株)イング アソシエイツ ディレクター 三河内 英樹 氏

- ≪4.24 (水) ≫ **マーケティングの視点から「中身・パッケージ・価格」のバランス**  
 ワークショップ：店頭商品におけるパッケージ評価  
 講師：(株) スタッフワーク 代表取締役 坂元 雄二 氏
- ≪5.8 (水) ≫ **日用品からギフトまで「商品ブランディングの勘所」**  
 ワークショップ：ブランドづくりのためのコンセプトワーク  
 講師：(株) TCD 取締役社長 山崎 晴司 氏
- ≪5.15 (水) ≫ **記憶に残る“らしさ”のデザイン**  
 講師：ホソカワデザイン 代表 細川 華世 氏  
**大型量販店が求めるパッケージの秘密**  
 講師：グラフィックパワー (株) 代表取締役社長 中村 拓哉 氏
- ≪5.22 (水) ≫ **女性目線でわかりやすく伝えるパッケージの技術**  
 ワークショップ：キャッチコピーを含めたラフ案をつくる  
 講師：(株) イング アソシエイツ ディレクター 大力 千津子 氏  
**包む〜パッケージの原点/素材を活かし、コストを配慮したデザイン**  
 ワークショップ：折り型による日本の包み  
 講師：丸廣紙業 (株) 企画デザイン室 顧問 横川 三希子 氏
- ≪5.29 (水) ≫ **物語をパッケージするという事**  
 講師：大崎事務所 代表 大崎 淳治 氏  
**感じるパッケージの色、カタチ、素材〜海外のパッケージ研究〜**  
 ワークショップ：パッケージ持ち寄りミーティング/日本と海外パッケージ比較レポート  
 講師：三原美奈子デザイン 代表 三原 美奈子 氏
- ≪6.5 (水) ≫ **パッケージデザインの売れる仕掛け/かっこいいパッケージデザイン**  
**発注の仕方**  
 ワークショップ：企画書作成&プレゼンテーション  
 講師：(株) サンデザインアソシエーツ 代表取締役社長 松尾 政明 氏

イ) 2019 年度後期 (第 6 回目)

新たな講師 5 名を迎えて、年 2 回目開催。加えて、1 月 17 日 (金) に受講者交流会 + 「パケ買い展」も SEMBA で開催 (23 名参加)。

時期 2019 年 10 月 16 日 (水) ~ 11 月 27 日 (水) 16:00~19:00 全 7 回

場所 大阪デザインセンター「SEMBA」会議室

参加者数 16 名

参加料 60,000 円 (税込) 当センター賛助会員 50,000 円 (税込)

内容

≪10.16 (水) ≫ **パッケージデザイン概論&プロセス**

ワークショップ：パッケージを生み出すというコト

講師：(株) イング アソシエイツ ディレクター 三河内 英樹 氏

≪10.23 (水) ≫ **マーケティングの視点から「中身・パッケージ・価格」のバランス**

ワークショップ：店頭商品におけるパッケージ評価

講師：(株) スタッフワーク 代表取締役 坂元 雄二 氏

《10.30 (水)》女性目線でわかりやすく伝えるパッケージの技術

ワークショップ：キャッチコピーを含めたラフ案をつくる

講師：(株) イング アソシエイツ ディレクター 大力 千津子 氏

包む〜パッケージの原点/素材を活かし、コストを配慮したデザイン

ワークショップ：折り型による日本の包み

講師：丸廣紙業(株) 企画デザイン室 顧問 横川 三希子 氏

《11.6 (水)》記憶に残る「らしさ」のデザイン

講師：ホソカワデザイン 代表 細川 華世 氏

パッケージディレクションを考える

講師：グラフィックパワー(株) 代表取締役社長 中村 拓哉 氏

《11.13 (水)》物語をパッケージするという事

講師：大崎事務所 代表 大崎 淳治 氏

中身を生かすパッケージの考え方

ワークショップ：素材×容器 新しい商品企画を考える

講師：三原美奈子デザイン 代表 三原 美奈子 氏

《11.20 (水)》日用品からギフトまで「商品ブランディングの勘所」

ワークショップ：ブランドづくりのためのコンセプトワーク

講師：(株) TCD 取締役社長 山崎 晴司 氏

《11.27 (水)》パッケージデザインの売れる仕掛け/かしこいパッケージデザイン発注の仕方

ワークショップ：企画書作成&プレゼンテーション

講師：(株) サンデザインアソシエーツ 代表取締役社長 松尾 政明 氏

## II (価値)共有軸 (事業費 2,471 千円, 収入 1,154 千円)

### 1 デザイン交流の場づくり (1,052 千円, 収入 754 千円)

#### (1) サロン交流 (749 千円, 収入 616 千円) (再掲)

##### ア) SEMBA サロン (89 千円, 収入 83 千円)

デザイン関係者、ものづくり企業等幅広い方々が気楽に集まって交流を図り、情報発信できる場をもつため、当財団所有の船場会議室を開放して、デザイントークと交流の場、「SEMBAサロン」を開催した。

時期 随時開催にて9回実施 金曜日 19時から21時

場所 SEMBA 会議室

参加者数 192名 平均21名

参加料 500円 (賛助会員は無料)

内容 前半は講話、後半は懇親会

##### イ) ナレッジサロン (660 千円, 収入 533 千円)

うめきたのナレッジサロンは、関西の産・官・学のイノベーション拠点として、多彩な人々の結集拠点となっているので、引き続き、デザイン関係者がサロン会員継続を希望する場合の便宜を図り、連携・活用をしている。



## (2) 新年賀詞交歓会の開催 ( 303 千円、収入 138 千円 )

当財団理事評議員、賛助会員、デザイン団体、行政関係者などとともに、新年互礼会を開催した。

時期 1月15日(木) 17:00~20:00

場所 ヴィアール大阪

参加者数 56名

参加料 会費 3,000円

内容 第1部記念講演(川西純市氏「メダルデザインに込めた想い」、第2部懇親会。

## (3) その他(工場見学会など) ( 0 千円)

時期 7月22日(金) 16:00~17:30

場所 大阪南港 ATC ビル 2 階「ICHIJO-Lab 大阪」

参加者数 15名

参加料 無料

内容 一条工務店が ATC 内にオープンした最新型ショールームを見学し、住まいの性能を体感した。

## 2 デザイン情報の共有、発信 ( 1,154 千円 )

### (1) 情報発信力強化 ( 1,154 千円 )

#### ① ホームページの充実、運用 ( 152 千円 )

事業内容、イベント、他機関情報の発信。更新頻度随時。ウェブデザイン変更等。月間平均アクセス 3376。Instagram 等の SNS の活用は未完。

メールマガジンによる情報発信：各回平均 3197 通、50 通発刊

#### ② SNSによる情報発信 ( 0 千円)

これまで、Facebook、twitter で情報発信してきたが、さらにニュース性、即時性を高め、新規閲覧者獲得のためにどのような方策が有効かを引き続き検討していくとともに、理事、評議員や専門性の高いデザイナーによるデザインコラムなど、読み物性を向上させるよう努めた。

#### ③ 展示会等による情報発信 ( 1,002 千円 )

ア)「LIVING & DESIGN 2019」への出展“暮らしと住まいのリノベーション”)

「住まいと暮らしのリノベーション」をテーマに 2010 年から開催されている西日本最大規模の住空間の国際見本市「LIVING & DESIGN 2019」に出展した。

時期 10月30日(水)~11月1日(金) 10:00~18:00

場所 インテックス大阪 5 号館

参加者数 来場者 6,271 名

参加料 無料

内容 企業や流通関係者、一般市民に大阪デザインセンターの事業内容を周知し、事業参加を募るため、「デザイン×SDGs を経営課題に活用—ネクストリーダーが育つ」と題して経営デザインプロデューサー講座} の内容を中心に展示

## イ) 大阪勧業展への出展

大阪商工会議所が主催する多業種型総合展示商談会である「大阪勧業展 2019」への出展

時期 10月16日(水) 10:00~17:00、10月17日(木) 9:30~16:00

場所 マイドーム大阪

参加者数 来場者 7,550名

参加料 無料

内容 3階ロビーのデザイン特別コーナーにおいて、展示・相談コーナー、セミナーを JIDA, USD-0 と共に実施

## (2) デザインデータベースの整備 (0千円)

在阪を中心とするデザイナー、デザイン事務所の情報やポートフォリオなどデータベースを整備した。

## 3 外部連携 (115千円)

### (1) デザイン団体との連携 (0千円)

当財団が事務局を受託するデザイン団体を含め、在阪の各種デザイン関係団体と連携・協力し、諸事業の展開を図った。

大阪デザインカンファレンス開催に向け、JCD、JDPU、JID、JIDA の4団体と協議。ODC60周年記念事業に向けて、USD-0の協力要請。

### (2) 行政、商工経済団体との連携 (115千円)

大阪商工会議所、東大阪クリエイティブコア、淀川区工業会などの商工経済団体や大阪府・市をはじめとする行政、金融機関等との連携を進めてきたが、具体の事業展開までには至らなかった。引き続き、他府県や産地組合との交流、連携も強化し、諸事業の積極的な展開を図りたい。

## 4 デザインビジネスマッチング、ビジネス支援 (150千円、収入400千円)

### (1) デザインビジネスプロモーションセンターの運営 (150千円、収入400千円)

中小企業のデザイン導入・活用に関するあらゆる相談や情報提供、さらには要望に応じたデザイン事務所の紹介や個別カウンセリング行うなど、中小企業とデザイナーとのビジネスマッチングに努めた。ホームページでの情報発信やマッチング事例集配布、「大阪勧業展」への出展に加えて、産創館「パッケージ展 2019」に出展するなど積極的な広報を行ったが、相談案件数は3,391件で、デザイナー紹介における成約率は40.2%と、新型コロナの影響も年度末に受け、前年より成約率が約10%落ち込んだ。今後、新しいホームページでより頼りになる窓口としての事業PRを訴求すると共に、企業依頼内容に対するデザイナーとの的確なコーディネート業務に注力し、付加サービスの検討も含め、マッチングの精度を意識した取組みを行うこととする。

#### ① デザイン一般相談・利用

一般相談・利用件数 3,391件 (前年度は 3,571)

(内訳)

デザイナー一般 に関すること	デザイナー紹介 に関すること	個別面談カウンセリング に関すること	データベース に関すること	その他	合計
1,824 (1,867)	944 (1,137)	82 (77)	353 (343)	188 (147)	3,391 (3,571)

② デザイナー・デザイン事務所の紹介

依頼件数 107 社 (前年度は 117)

(内訳)

プロダクトデザイン分野		スペースデザイン分野		コミュニケーションデザイン分野		合計
成約 (開発中含む)	15	成約 (開発中含む)	1	成約 (開発中含む)	26	42
交渉中	5	交渉中	0	交渉中	13	18
不成約	15	不成約	6	不成約	26	47
合計 (前年度)	35 (53)	合計 (前年度)	7 (7)	合計 (前年度)	65 (67)	107 (127)

③ DPC 専任コーディネーターならびに専門プロデューサーによる個別面談カウンセリング

DPC 専任コーディネーター(ODC 職員)対応 142 件/専門プロデューサー対応 4 件  
合計カウンセリング件数=146 件 (前年度は 127)

(内訳)

プロダクトデザイン分野	スペースデザイン分野	コミュニケーションデザイン分野
60 (50)	7 (13)	79 (63)

※ ( ) は前年度の件数

④ 展示会出展・見学会等

- ・「大阪勧業展 2019」マイドームおおさか 令和元年 10 月 16 日・17 日 (2 日間)  
来場者数 7,550 名 ブース来場者数 150 名

\* 中小企業のためのデザインセミナー「デザイナーと初めてのデザイン開発」

令和元年 10 月 17 日 受講者数 12 名 講師: 釜田 聡

- ・「パッケージ展 2019」大阪産業創造館  
令和元年 8 月 8 日 来場者数約 1,500 名 ブース来場者数 116 名

- ・施設見学会 一条工務店「ICHIJO-Lab 大阪」

平成 31 年 7 月 22 日 参加者数 15 名 場所=ATC ITM 棟 2F

⑤ 広報活動その他

- ・デザインイベント・セミナーでのチラシならびにマッチング成果事例集の配布。  
ホームページでのマッチング事例 (case study 掲載事例 累計 179 件) を相談企業の声と共に多数掲載して情報発信。

- ・当センターにおけるマッチング事例の展示

平成 31 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 20 日 展示点数 15 点

## ⑥ 主な視察状況

11月26日	大阪府立西野田工科高等学校（デザイン系2年生）	30名
12月4日	インドネシア商業省	4名
12月6日	内閣府沖縄総合事務局	3名
2月15日	ビーズ株式会社	2名
2月19日	カーム株式会社	2名

## (2) 地域創生、販路開拓支援（0千円）

地域創生の成功事例として、「瀬戸内国際芸術祭」への視察ツアーを企画して、公募したが、参加者少数のため中止した。

## Ⅲ 国際軸（支出0千円）

### 1 国際的なデザイン交流

国際デザイン交流協会の理念を受け継ぎ、世界と日本とのデザイン交流を進めることとし、近年、目覚ましい発展を遂げている、東アジア地域のデザイン振興拠点、展示会等を視察し、現地企業等との交流を行うデザイン交流団の結成、派遣を検討するとしていたが、実現には至らなかった。

## Ⅳ ODC関係（その他会計、法人会計）（支出4,542千円、収入8,724千円）

### 1 賛助会員の加入促進（会費収入3,679千円）

健全な財政運営を図っていくためには、自主財源である賛助会費収入の安定的な確保が不可欠であり、引き続き、ODCが行う諸事業を通して、積極的な加入促進に努めた。また、賛助会員には、各種デザイン情報のメール配信のほか、賛助会員証の発行、HPへの明示、業務発注便宜など具体的な会員サービスの強化策を実施した。

今後、引き続き賛助会員の加入促進策を検討・実施し、加入の促進に努めていきたい。

賛助会員（2020年5月20日現在）

企業	31社
デザイン事務所	83社
団体	8団体
計	122

### 2 施設賃貸事業（賃貸支出4,542千円 賃貸収入3,758千円）

船場センタービル4号館に保有する142.12㎡の資産を有効に活用するため、3階部分は日本色研事業(株)への賃貸を継続し、2階は貸し会議室SEMBA及び当財団分室として活用した。上記のうち、2019年度SEMBA会議室貸出実績27件、賃料収入152千円。

### 3 デザイン団体事務局受託（支出0千円 受託収入1,287千円）

大阪デザイン団体連合 USD-0、(公社) 日本インダストリアルデザイナー協会  
JIDA 関西ブロック、(公社) 日本インテリアデザイナー協会 JID 西日本エリア、  
(一社) 日本商環境デザイン協会 JCD 関西支部、あぷーん AP～N (Ageless Planning Network)  
からの委託を受け、各団体の事務局業務を推進し、各団体の支援に努めた。